す。

し

て

4

た

だ

きた

公民館

を位置づ

都祁公民館だより

発行 公益財団法人奈良市生涯学習財団 奈良市都祁公民館 奈良市針町2191番地

82-1362 TEL/FAX 発行責任者 岡 本 胤継 植 編集責任者 \blacksquare 隆

し の 暑と 激な気象変化が今年は酷く ない か 太陽黒点などの異常が影響 ŧ 評 日が され し ħ 続き、 ませ る暑さで ん。 植物に影 兎も角、 す。 響が なり 雨

春

に

興東地域での

方言

調

査

報

告

会

K

が降ら 出まし す る

中

症

の

心

配

ŧ

あ

ŋ

注

意を

び

用すべ 大きく・ か か 急 体 け ら こ 激 調 の る事も きだと常 な気候変動と 方 の 騒 管 針 動 極 的に 理に 日常 の の 変化 中 的と Þ 空 で、 は、 思っ が 調 起こり 空調 W を 迷 な うに ŋ て わず空調を 活 () 用 を控える事 ま する まし ま 相 し 応 L た。 l 事 た。 活 1

بح

部 良

に

ま

奈

は

中

·央構造

ょ

北

ャンプ補助

員の

皆

さ ン

ん

加

費

無料

夕

指

この 所開設指示がでるやも 興東、 n 折 には、 ま いした。 頃です。 月 東 部の 今 台風十二号が 後 Ŕ 三つの にも 避難所 1) 公民館 知 つ n 何 ま 時、 接 が せ 開 近した 田田 ん 避 設 さ 原 ゼ 四

る 必 底 自 一要が 治 おく必要が 会 出 連 単 てい 絡担 位で 要支援者 ま 当 者 を 細 0 や 把 か 握 に 当 等 て を は 方 言

決

め 合 日

て

ありま

に

何

処に

退所

す

れ

(J

の れ

か

六

遇

表現

E

 \neg

ナ

ハ

ル

という伝

統

的

加 祁

費

無

•

頃

か

Ď

避難指

示

が

2発令さ ばよ す。

た

館施設

を

事前に

て

お

Ŋ

て

()

ただ 公民

祁

公民館に

避難す

る方

んは、

き

たいと

思

(1)

ま

す。 知っ

又

災計画

の

Ŋ け、 中 と願っ で、 うまく活 難所 て お 用を とし ŋ ま ど ま 子 つり」 興味が尽きま 査 音 ロのサ 一報告会は、 行とハ行の入れ で 行 + せ ま

す。

お

楽 日

しみ

に

!

月三

午後

つ

替

わ

ŋ

現

館 長 岡 本 胤

日 ま 都 で実施されました。 祁 方 言調査が 八月 ん七 日 か ら 八 継 月 九

説 た 方 近 年 言 明 ø 加 بح は の を L 特徴を 大阪 z Ŋ ま 大阪弁の れて う l · 西宮 た。 弁 () の まし Ŀ 勢 そ 昔 民氏 塗り 力下 の の 京 た 折 の言 にま を 都 し 弁 奈 た きこま の 良 葉 素地 県北 を 状 態 借 ŋ に n 部 あ て た の

北 南 言 葉も 京 部 祁 は 音 阪式アク 方 言の 分か 節 北 北 部と南部に 語 の 特 部方言地 n 長音化 セント 色は次 現象 いの通 域に 分 (南 か になりま 部 ŋ n ·です。 は ま す。 東 京 す。 支

`

連 過 果態 続態 去 母 定 音 の の に 推 助 夕 動詞「 a 夕 定表現「 ル・ i シ ャ ۲ は ヤ 融 ル を 合し 口 用 な 11 な る

非、

<

人に を 3 使う 音 好 形 心式があ 節 意 語 場 は を 合もあると 抱 の 下 と言う事 長音化 りま 向 () きの て す。 (1 感 る は、 っです。 いう事 感情 情 表現 蚊 ハ を が ル 込め で か す。 ナ 親 力 L ら ハ ル 1) n

ツ ス つ げ

鄒

都

忩

圆

릛

蝖

腦

0

<u>ئى</u>

켫

恟

九

月

か

6

月

D

弉

催

請

座

ろ いろ なレ クレー クレー ザ シ シ 3 3 ン

ゲー

ゲ

厶 A

秋

の

夜

ょ

う。

挑 お うちの人も 戦しま きっと楽し ぜ IJ ひ で 緒 す にご参 よ

加

野

外活

動

月 日 主 さ

祁 体育館集合 一時~ 奈良県立 十五 野 外活 参 加 動 費 セ 無

す 十五歳からの体力づ す らん学 マジ ッ くり クシ 講話 3

l 力

二部で しみま ŋ につ 部 で は は () て、 六 マ ジ 話 十 を ッ 五 ク 伺 歳からの シ (1) 3 ま 1 体 を

九月七日 十三時半~ 福祉セン ご参 **金** z + 加 五 だ さ 1



熱中症かも 軽度

こんな症状な

立ちくらみ 筋肉痛 汗が止まらない

中度

頭痛 吐き気 体がだるい(倦怠感) 虚脱感

重度

意識がない けいれん 高い体温である 呼びかけに対し返事がおかしい まっすぐに歩けない、走れない

【熱中症の応急処置】 ・呼びかけに答えなければ

- ➡救急車を呼ぶ 呼びかけに答えれば
- ⇒涼しい場所へ避難し、服を ゆるめ体を冷やす
- 水分を自分で摂取できれば 水分・塩分を補給する
- ➡回復しなければ医療機関へ

都 祁福祉 地集 どら 九時~· き 祁 加 祁 祁 月二十八日 山 山 水 ば、 分神社 合 れ П П 十四四 神社 神社 センター • る 現 様 付 子を から 地 近 に の 解散 の 祭り 里 散策 見学 都祁 帰り 駐 日 は 車 をされ 場 ŧ l 水分神 神さ 集 ま 合 ま

祁 散

都

さんの 里 ます。 社 ん が

良県野外活 を観察しま 星の説明を 月十三日 八時~ 二十 す。 動 時 セ 土 ン ター 集

や て ヤ

吐 山 で星 の 観察 を L

セ ン の 大ス ク IJ ĺ

受 け そ の 後、 実 際 に

講座のお問い合わせ・お申込みは、電話・FAXで都祁公民館まで(月曜日・祝日は休館日です)TEL&FAX 0743-82-1362

りし

なども流れました。

しました。

こんな講座がありました!(公民館主催講座

五 つ星★交流キャンプ

IN都祁 (五館共催事業)

今年は、 月ヶ瀬・都祁の公民館のことです。 吐山の奈良県立野外活動センターで つ星の意味は、 都祁公民館が担当館でした。 田原・柳生・興東

○新しい友達ができた。 ○カレーが美味しく、お代わりした。 ○楽しかったので来年も参加したい。 グ、カレーつくりと夕食、キャンプフ ァイヤーなどのプログラムでした。 参加した子どもたちは、



りました。

そして、いよいよ

能力ゲームカードも作 きました。その後、超 興東地区) で行う予定です。 などの感想を持ちました。 奈良市立野外活動センター おはなし会とそうめん流し(第二回)

来年は、



らの卵、蒟蒻ゼ チェリー、うず はなく、ミニト マト、ブドウ、 そうめんだけで 始まりました。 そうめん流しが お待ちかねの

そうめん流しを楽しむ姿

キッ ズ つげザー

おもしろ実験(第一回)

ズで行っています。 実験は、「カンつぶし」「音の出る 今年もキッズつげザーを五回シリー

喜びを感じ、物を大切にする心を養

ってもらおうと

「おやこ陶芸体

七月二十一日(土)、物つくりの

芸

教

室

おやこでチャレンジ

しぎ」「コッ 「くすりのふ

行い、

自己紹介、クイズオリエンテーリン

七十二名の参加がありました。

した。 輝かせて実験を ホルダー」で プでつくるキー どの子も目を



ふしぎなパイプ」「スライムで遊ぶ」

スライムで作った風船



午 前

することを目標 親子が共に体験 した。講座は、 験」を開催しま

に企画しました。

た。 を受け、思い思いの作品を作りまし 午後に分かれ、講師の説明

それまで、待ち遠しいですね。 出来上がりは八月末です。 すずらん学級

きたくさんのお話をき の皆さんに来ていただ 「つげおはなしの会」

から、 た。初めに、 陶芸教室を開催しました。 に出展しようと、七月二十七日 (金) 講師は「伊賀焼大内窯」から迎えまし 各自の作品を作りました 皿の作り方の実演を見て

自分好みの作品を作り、 つげまつり



〇熱中症の予防法

編集後記▼前のペー

・こまめに水分補給をする

・エアコン、扇風機をうまく活用する

・シャワーやタオルで体を冷やす

涼しい服装をし、外出時には日傘や帽子

涼しい場所や施設を利用する

正しい予防法を知り、普段から気を付けることで でかかる危険があります。 緊急時、困った時の連絡先を確認して置く 熱中症は、いつでもどこでもだれでも条件次第

防ぐことがきます。

てお過ごしください

まだまだ暑さが続くようです。十分に気をつけ











7月例会の作品口

祁山野草会